

新市長あいさつ



私は、4月23日の笠間市長選挙におきまして、多くの市民の皆様から温かいご支援を賜り、新「笠間市」の初代市長として市政の舵取り役を担わせていただくこととなりました。今、その責任の重さを痛感すると同時に身の引き締まる思いでございます。これから向こう4年間、市民の負託に応えられるよう、誠心誠意取り組んでまいります決意を固めたところでございます。

新「笠間市」は、去る3月19日、笠間市・友部町・岩間町が結束して産声を上げました。合併後のまちづくりの舵取りは極めて重要であり、各地域のバランスのとれた新市づくりが重要です。また、住民一人ひとりが力を合わせ、知恵を出し合い、個性を發揮し、新しい時代に対応したまちづくりを進める必要があります。新市の重点ビジョンは、恵まれた交通基盤を生かしたまちづくりです。茨城県の中央部に位置し、鉄道や高速道路といった高速交通網が発達している地理的優位性を十分に發揮し、陸（恵まれた高速交通網）・海（常陸那珂港を結ぶ北関東自動車道）・空（百里飛行場を結ぶ交通体系）が連結した地域として、本市は、極めて重要な役割を担っております。この合併によって、恵

まれた交通網をさらに生かし、新市の将来像である「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間市」を創り上げることが、私に託された最大の責務として邁進していく所存であります。しかし、地方行政を取り巻く環境は、地方分権の進展による地方行政の責任分野の増大、国・地方の厳しい財政状況下に対応する行財政改革の必要性、また少子・高齢社会や地球規模での環境問題など住民生活に直結した課題が山積しており、新市におきましても効率的な自治体運営や創意工夫が望まれているところであります。このような状況の中で、私の4期15年にわたる県議会で

の経験を生かし、行財政改革を進めるとともに「個性と創造性」を大切にしながら、市民の皆様との「連携」「協働」により、誰もが愛せる笠間市を創り上げて参りたいと考えております。新しい「笠間市」が時代の波を乗り越え、大いに発展するために市職員とともに与えられた職責を全うし、市民に安心して頼りとされる市になるように、全力を尽くすつもりであります。市民の皆様には深いご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。私の市長就任のご挨拶といたします。

笠間市長 山口 伸樹



山口市政がスタート

さきの市長選挙で当選を果たした山口伸樹市長が、4月24日、初登庁し市民の皆さんや職員に出迎えられました。その後、職員への訓示や事務引き継ぎなど、市長として初仕事をしました。



職員から花束を手渡される山口市長

平成18年4月23日執行 笠間市長選挙開票結果

当日の有権者数	投票者数	投票率
65,340人	46,293人	70.85%

各候補の得票数(敬称略)

	候補者氏名	得票数
当	山口 伸樹	20,004
	村上 典男	14,571
	川上 好孝	11,336
	無効票	382
	計	46,293

プロフィール

昭和33年、笠間市生まれ。47歳。国士舘大学経済学部卒業。

平成2年茨城県議会議員初当選以後、4期15年務める。

趣味は磯釣り、山登り。座右の銘は、「誠意」。